



♡ ◎ 城里町で  暮らそう。 ◎ ♡

し る さ と く ら し



IBARAKI PREF. JAPAN

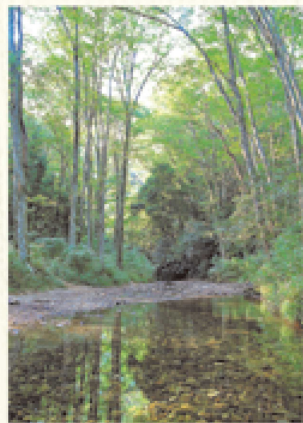
城里町
Shirosato Town



身近にあふれる 自然環境

関東の嵐山 御前山

清流那珂川とのおりなす景色の美しさは「関東の嵐山」と呼ばれています。また、山中には樹齢300年以上の樹木など豊富な自然が残っています。標高156mと低くちょっとしたハイキングにおすすめです。那珂川は、アユの釣り場として知られていて、秋にはサケの遡上も見られます。



皇都川

御前山に流れる皇都川は、伏流水のため、普段、下流は水が流れていません。昔、弘法大師が洪水に苦しむ人々のために、川を枯れさせたという伝説があります。

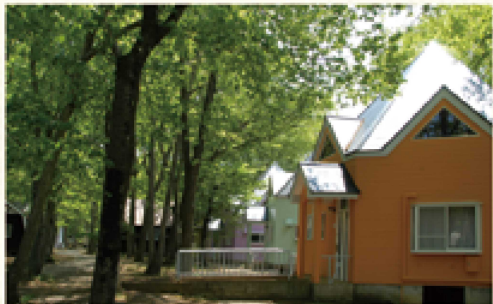
鶏足山

城里町の西端に位置する鶏足山。空気の澄んだ日には、筑波山や富士山を眺めることもできます。また、弘法大師の伝説が残る山といわれています。



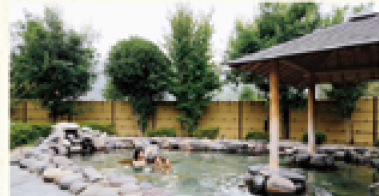
ふれあいの里

キャビンやオートキャンプ場、バーベキューエリアがあり、日帰りでも宿泊でも気軽に自然を楽しめます。天文台では本格的な天文観測が体験できます！



ホロルの湯

温泉！サウナ！！プール!!! で健康増進。露天風呂から四季折々の自然を眺めて心も休まる森林のオアシス！



人と自然が響きあい ともに輝く住みよいまち



道の駅 かつら

新鮮な農産物や加工品などを直売。店頭でそば打ちを見ることができます。



物産センター山桜

地元産の農産物や山菜を直売。城里産のやぶきた茶ソフトクリームなども好評です！

受け継がれる 伝統技術

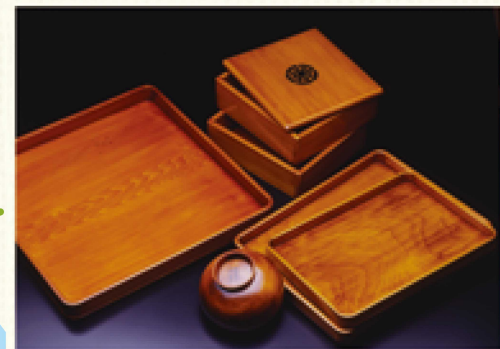
お米のまち「しろさと」

古くから良質米の産地だった城里町。特に七会地区は江戸時代から水戸藩代々の献上米の産地でした。



茨城三大銘茶 古内茶

奥久慈茶、猿島茶と並ぶ茨城三大銘茶の一つ。豊かな香りと渋みが特徴です。



栗野春慶塗

日本三春慶のひとつに数えられる日本最古の春慶塗です。春慶塗とは器物に透明な漆を塗り、木目が美しく透けるように仕上げる技法です。

病院/診療所

- 1 石塚地方病院
- 2 いしつか診療所
- 3 しらべクリニック
- 4 城里慶友整形外科
- 5 せつクリニック
- 6 七会診療所
- 7 広沢クリニック

保育所

- 1 ななかい保育所
- 2 靖光保育園

歯科医院

- 1 かつら歯科クリニック
- 2 菊地歯科医院
- 3 沢山診療所歯科診療室
- 4 しらべハートランド歯科クリニック
- 5 ジュン歯科医院
- 6 七会診療所歯科診療室
- 7 松山歯科

認定こども園

- 3 桂幼稚園
- 4 常北保育園(平成29.4～)
- 5 みどりこども園(平成29.4～)

移住の ステップ



1 どんな暮らしがしたいのか しっかりとしたイメージを！

まったく違うところでどうい生活をするのか、しっかりとしたイメージを持つと移住も円滑になります。

3 家族の合意は丁寧に！

家族で移住される場合、しっかりと話し合っ、家族みんなが納得の上で移住を検討しましょう。

2 事前の情報収集が重要です！

交通機関や医療機関の情報等を、事前に調査しておくトラブルが防げます。また、イメージがしっかりしているとどんなことを調べればいいのかも明確になります。

4 その土地の暮らしを知る！

移住体験ツアーを随時開催しています。参加いただくと町のことを知ることができます。現在お試し住宅を整備中です。城里の暮らしを知るためにぜひご活用ください。

5a 2地域居住もあり！

都心に近い城里町なら2地域居住も可能です。現在のお仕事、またはお住まいを活かしつつ、週末のみ、あるいは通勤をして、少しずつ城里町を知るという方法もあります。

5b 定住のために仕事を探そう！

移住後の生活のために仕事を探すことも必要です。相談窓口としてハローワーク等があります。活用ください。

ハローワーク水戸

水戸市水府町 1573-1 TEL 029-231-6221

いばらき地域ごと支援センター

水戸市三の丸 1-7-41
いばらき就職・生活総合支援センター内
TEL 029-233-1601

6 住むところを探そう！

民間の賃貸や販売物件等のほか、町営住宅、現在整備中の空き家バンクをご活用ください。

いざ！
城里町へ！！

もっと知りたいっ！！

★「介護・医療・福祉事業所と連携した移住定住促進事業」を活用して移住したおふたりに聞きました。

桂聖明園 秋山 雄基さん



私は、桂聖明園に入職して4年目を迎えます。元々隣接市に住んでいましたが、暖かい人たちに囲まれた恵まれた職場で、今後は資格取得にチャレンジし、自分のキャリアを高めようと思い、今回の制度を利用して城里町に移住してきました。

常北保育園 寺門 舞さん



私は結婚を機に、町の助成制度を活用して城里町に移住してきました。職場は元々城里町だったので、通勤はとても楽になりました。それ以外の生活面でも、実際に転居してみると、クリニックやスーパーも近所にあるので、不便さは感じずに過ごせています。



平成30年度版

ライフステージにあわせた城里町の子育て支援事業

妊娠・出産

幼児（0歳～未就学児）

小学生・中学生

高校生

医療福祉費支給制度[マル福・マル特] 健

こどもの医療費助成を中学生まで延長しています。
※妊産婦、ひとり親、重度心身障害者の医療費も助成しています。

＜病院を受診したときの自己負担額（1医療機関あたり）＞

外来：2回目まで600円（3回目以降無料）
入院：1日あたり300円（11日目以降無料）
重度心身障害者は自己負担なし

高校生まで対象を拡大します。
（平成30年10月1日改正）

出生祝金 福

18歳未満（※）のこどもを2人以上養育している保護者で、出生により3人目以降のこどもを養育することとなったときに、10万円を支給します。
※18歳到達年度の3月31日まで

子育て支援金 福

18歳未満（※）のこどもを3人以上養育している保護者で、3人目以降のこどもが、3歳・6歳に到達したときに10万円を支給します。
※18歳到達年度の3月31日まで。

3・4・5歳児の保育料（授業料）が無料 福 教

保育所、認定こども園、幼稚園に通う3・4・5歳児の保育料（授業料）を全額町が負担します。
認定こども園に通う1号認定（幼稚園部分）の給食費を月額3,000円、町で負担します。

学校給食費を引き下げ 教

学校給食費を引き下げ、保護者の負担を軽減しています。
給食費[月額]
小学校・中学校 無料
※幼稚園 1,000円

高等学校通学費助成 教

公共交通機関（路線バス、電車）で通学する生徒の年間定期券代の3割相当額（上限8万円）を助成します。

予防接種 保

定期予防接種は全額町が負担します。
インフルエンザ予防接種は1回につき2,000円を助成します。

児童手当 福

中学校終了までの児童を養育している方に右の金額を支給します。

- ▶ 3歳未満 月額15,000円
 - ▶ 3歳～小学生 月額10,000円（第3子以降は15,000円）
 - ▶ 中学生 月額10,000円
- ※所得が限度額超過の場合は、特例給付として月額5,000円を支給します。

城里町奨学基金 教

経済的な理由により就学が困難な学生に奨学資金を貸与します。
[貸与額]
▶高校生・高等専門学校生 月額3万円以内
▶大学生

結婚新生活支援補助事業 福

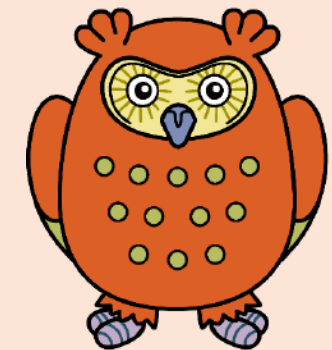
新たに結婚された世帯に対し、新婚生活の負担軽減のため、30万円を上限とし引越し費用や家賃等の助成を行います。
※年齢・所得等要件あり

城里町営住宅子育て世代支援事業 都

町外にお住まいの子育て世代の方が城里町に転入し、桂地区・七会地区の町が運営する住宅に入居したとき、1世帯あたり30万円を補助します。

介護・医療・福祉事業所と連携した移住定住促進事業 ま 健 福 長

50歳未満の方が城里町に転入し、町と連携する介護・医療・福祉事業所に就労したとき、移住支度金30万円と家賃助成金月額4万円（3年間）を支給します。



健やかな妊娠と出産を応援します 保

- ・母子健康手帳交付
- ・マタニティヨガ
- ・マタニティクラス

こどもの健やかな成長を見守ります 保

- ・赤ちゃん訪問
- ・乳幼児健診
- ・乳幼児歯科検診

こども遊び・学びを応援します 保

- ・プレイルームの開放（常北保健福祉センター：午前9時～午後4時）
- ・つどいのひろば（保育士による親子遊び・読み聞かせ）

親子の交流と子育て相談 保

- ・ベビーマッサージ教室
- ・離乳食教室
- ・乳児相談
- ・すくすくベビー
- ・にこにこひろば
- ・おむすびころりん
- ・こどもの相談会（心理士による相談）
- ・ぱれっとくらぶ

放課後児童クラブ 福

保護者が仕事などで家庭にいない児童を放課後に預かります。

＜お問い合わせ＞

健 ・健康保険課TEL029-353-7023

保 ・常北保健福祉センターTEL029-240-6550

福 ・福祉こども課TEL029-353-7265

教 ・教育委員会事務局TEL029-288-7010

都 ・都市建設課TEL029-288-5396

ま ・まちづくり戦略課TEL029-353-7040

長 ・長寿応援課TEL029-353-7125

センパイに 聞いてみた!!

まっかげ農園

大浦 かおりさん

’85年、東京都出身。短大卒業後、都内で3年間OLとして働いた後、群馬県・嵯塚農園で半年間農業経験。積み、城里町に移住。先に就農をしていた中山さんと合流をするも、収穫等の手伝いをしながら一般企業に勤める。3年後の’14年、「まっかげ農園」に正社員として就農。

中山 祐美加さん

’85年、神奈川県出身。短大卒業後、日本農業実践学園で1年間研修。その後、群馬県・嵯塚農園で3年間働き、就農を決定し、城里町の農家で2年間の研修を経た’12年に役場などの支援を受けて独立・就農。’14年からは、大浦さんも正式に参加し、女性2人の「まっかげ農園」となる。

中学生の時に農業の後継者不足について聞いたという二人。同じ高校を卒業後は別の道へ。中山さんは城里町の隣、水戸市にある農業実践学園を経て農業法人へ就職。大浦さんは都内でOLへ。しかし数年後、大浦さんは、中山さんの居る農園で働く事となり、そこで互いの就農への志を確認し合ったそうです。

「2人で独立したら楽しいよね。女性農園を立ち上げたら色々な可能性のある農園にできる」とイメージをふくらませ、新規就農を目指して城里町に来ました。

最初は、城里町で新規就農をした、実践学園での知り合いの元で、中山さんが2年間の研修を、その間、大浦さんは別の仕事をしていたそうです。これは当初からの計画で、2人で専業になるのは軌道にのってからと決めていました。その間に家を借り、徐々に地域に溶け込んで来ると……土地が空いてる、という情報をももらえたり。「人柄の良さとか、研修期間にいろいろ知り合えた。それが移住を決めたきっかけです」と中山さん。

現在、主に作っているのは農協向けにほうれん草に小松菜、生姜、他に直売所向けの枝豆やオクラと、夏野菜は何十品目にものぼる。



冬にはネギやほうれん草、干し芋、乾燥生姜。品目数もさる事ながら、加工品までというので、大変では？と聞くと、「大変ですが一人よりは全然」と中山さんは笑う。「農作業をする上で、二人でやる方が効率もいいし……出荷などは時間が取られてしまうので、そういう時は一人が栽培、一人が出荷という事ができます」

中山さんは栽培、大浦さんは営業と、得意分野に比重を置きつつ、時期によってバランスをとっていくそう。しかし時には衝突もある。長年の間に育ってくるやりがいやプライド。「そこに入ってこれるとケンカになる」そう言うそばから大浦さんが、「でもあまり引きずらないよね。その日で終わり」と間髪なく笑う。

東京にはやりたい事がなかった、と中山さん。「東京では稼いで使う事が生きがいという感じでしたが、今は自分の好きな事をしてお金が増えていく」感覚が変わった。それがやりがいに繋がっているという。「朝日と一緒に起きて、それを見ながら枝豆や小松菜を収穫したり……土に触って、本当に生きてるなあ、と。作った野菜をお客さんが食べて喜んでいただけると嬉しい。そういったところにすごくやりがいを感じ」ていて、それが楽しいと大浦さんは言う。

もちろん自然に囲まれている暮らしやすさもあるが、それ以上に、「農作業をしていると近所の方が声をかけてくださる事が多く、かといってそんなに立ち入ってくるわけでもなく、丁度いい関係が作れています。近所の方もとても優しくしてくださるので、そういったところがすごく新鮮」に感じている。

「今は2人の女性農園ですけど……」中山さんはそう言って、「これからは農業をやりたいという女性が沢山出てくると思うんです。それぞれの思いを持った女性に集まってもらいたい」と続けた。大浦さんも、新しいアイデアや展望を持った女性を待っていると話す。最後に、これからの願望は、との質問に「いろんな女性が集まれば、一つの大きなものになれるはず」と力強く答えた。

田口 優子さん

田口 優子さん

茨城県高萩市出身。2004年、水戸市（旧内原町）から城里町に移住。消防団、桂太鼓連をはじめとした様々な地域活動に積極的に参加し、地域と密な交流をはかっている。ふたりの息子さんと家族4人暮らしのお宅には、子供たちの絵や写真などが所狭しと飾られていて、暮らしを楽しんでいる様子が伝わってくる。

茨城県の北部、高萩市出身の優子さんは、2004年に城里町へ移住してきました。候補地探しに訪れた際、「こんにちは」と気さくに声をかけてくる小中学生や、公共施設での対応に親切心と温かみを感じ、移住を決めたと言います。

元タインドア派だったという優子さんは、引越後しばらくは仕事にはつかず、庭で日用大工などをして過ごしていたそうです。そこに、近所の人が気軽に遊びに来ては喋ってという、のんびりと過ごす日々。そんな中、小学校の講師を始めてしばらく経った頃、お子さんが生まれ、彼がきっかけとなってこの地域にさらに溶け込んでいくようになりました。

城里町では、保健センターや保育園、幼稚園と様々な場所で子育て支援が実施されています。優子さんは子供達を連れ、曜日ごとに違う場所へど「遊び」に通ったそうです。そこでは「子育て支援のために、先生がわざわざいろいろ指導してくださって、なんて素敵な町なんだろう」と思ったと言います。その後、幼稚園や学校で再会したお母さん達は「あの時子育て支援にいたよね」と、自然に繋がりが広がっていきました。

幼稚園の友達の影響で参加する事となり、4年経った今も続いているサッカー少年団。「一緒に遊んでいる時間はとっても幸せ」と子供たちを見ながら言って、さらに続ける言葉には、もっと魅力的な交流があるようです。「母親としても教わる事がいっぱいあるんです。私の持っていないものを皆たくさん持っているの、見て教わりながら、ああいう風にすればいいんだ」とか……親子サッカーやイベントも、協力して乗り越えていく感じで、絆が深まります」。

移住前には、あまり地域活動には参加していなかったという優子さん。しかし、子育て支援でとてもお世話になったという思いと、アットホームな空気や温かさに触れていくうち、いつかお返しをしたいという感情が自然に湧いてきたと言います。そしてそれはさら

に広がり、今では多くの地域活動、団体に参加しています。学校の役員を始め、得意とする英語を生かした「絵本を読み聞かせ隊」、和太鼓の「桂太鼓連」に女性消防団など。それらは皆、お母さん方の情報交換の場も担っていて、さらには参加している親子が、優子さんの子供達にとって第2、第3のお父さんやお母さん、兄弟達のように、まるで家族のように感じていると言います。何度か口にした「アットホーム」という言葉は、これらに依ることも大きいのかも知れません。ただ同時に、「子供達には絆やこの町にとらわれる事なく、それぞれの持ち味を活かして自分らしく生きて欲しい、そのために、どこでも生きていける力を身につけて貰いたい」と言います。和太鼓や地域での交流は、そんな思いの延長上にあるようです。

「地域の人達と学校がより繋がって、お互いに楽しみながら関わっていけたら、子供達もいろんな人と関わり合えるんじゃないかな」子供達を中心に据えながらも、これらの地域活動を通して、自分と家族、学校、そして地域から町、その成長を願っているように見えます。「移住してきてよかった。本当に温かい町」そう言う優子さんはまた、「いろんなチャレンジが出来る町だと感じて」いるそうで、これから城里町で挑戦したいことが、まだまだたくさんありそうです。



上遠野町長 聞いてみた!!

上遠野 修(かとうのおさむ)

1978年9月20日生まれ。水戸市出身。
東京大学経済学部卒。建設会社、IT企業
勤務、衆議院議員政策秘書を経て現職。
「2人の娘が恋人」が口癖。



「ここで子育てしたい」といってもらえる町へ

茨城県の県都・水戸市の北西部に位置し、緑豊かな森林と那珂川をはじめとする清流に恵まれた美しい自然景観を有する城里町。

平成17年の合併以来、少子高齢化と人口減少が進んでいますが、県内最年少首長の熱意と戦略により、人口減少歯止めのきざしが見え始めています。

【多忙な業務の合間の子育ては大変ではないですか】

私には2歳と0歳の二人の娘がいるのですが、町長という職業柄、土・日も公務に費やすことが多く子供との時間があまりとれていませんが、その分、一緒にいられる時間を大切にしています。

城里町は自然が豊かで人もとても温かい。今は子供も大きくなって来ているので、一緒にいるときはできるだけこの町のいいところを伝え、触れるようにしています。

2人ともママの味方ですが、怒られたときだけはパパになつてくれます。(笑)

【城里町の子育て支援について】

全国的な傾向ではありますが、城里町も人口減少が進んでおり、特に若い世代の流出と出生率の低下が深刻です。非常に重要な問題と考えており、私自身が子育て世代ということもあって、子育て支援には特に力を入れています。

以前から、実際に住んでいる方からは、住みやすいという声をいただいていたのですが、具体的な施策をとりまとめた情報がなかったのになかなか伝わりづらかったと思います。

今年度は子育て支援策の紹介や移住定住のパンフレット作成に力を入れました。

子育て支援策の紹介パンフレットは町内に広く配布したところ、大変好評をいただいております。

保育園の待機児童もゼロで随時受け入れが可能です。あわせて、平成29年度から4・5歳児の保育料・授業料の無料化を予定しています。

多くの自治体では所得制限等の条件付きが多いと聞いていますが、城里町では所得制限無く1人目から無料化を実施しています。また、小学校の給食費は1,000円に値下げし、高校生の通学に係る経費についても助成をしています(詳細については5～6Pを確認ください)。これらの施策の効果もあり、昨年9月から社会人口が改善される状況となっています。

今後も子育て支援に力を入れ、子育てといえど城里町といってもらえるような町にしたいですね。

【城里町の教育について】

人口が少ないため、小規模の学校ということで、教育水準についての不安があるかと思いますが、文部科学省が実施した昨年のテストでは、町内の小中学校で学力・体力ともに全国平均を上回る数値が出ています。

文化的な取り組みにも力を入れており、昨年7月に、廃校になっていた旧北方小学校へいせきびあ茨城(茨城県埋蔵文化財センター)を誘致しました。また、東京都江戸川区の江戸川フィルハーモニーオーケストラによる公演を実施するなど、歴史と文化の町として育んでいるところです。

いせきびあ茨城

茨城県内の遺跡から発掘された出土品を整理し、保管・展示している施設。廃校となった旧北方小学校校舎を活用し、平成28年7月26日に開設されました。

城里町って こんなところ!!



町

Q：気候について

気温は首都圏域に比べ冬場は2～3℃低くなります。四季折々の移り変わりが楽しめる環境です。

Q：雪はふりますか

年に1～2回ほど雪が積もりませんが、大雪になることはありません。

雪かきが必要になることはほとんどありませんが、車はスタッドレスタイヤに履き替えておくとう安心です。

Q：熊は出ますか

熊は出ませんが、猪はです。

防災無線や緊急メール等で猪出没情報を流しています。

今後は、有害鳥獣駆除に、町内の有志で結成された『狩りガール』が活躍する予定です。

Q：自家用車は必須ですか

鉄道の駅はありませんが、町内には路線バスやデマンドタクシーが運行しております。デマンドタクシーは1乗車300円で、町内のみの利用が可能です。自家用車があると便利です。

Q：町内に仕事はありますか

都会のようにはいきませんが、仕事はあります。また、近隣市町村にもありますので、ハローワーク等で相談ください。30分程度で近隣市町村への通勤が可能です。

Q：インターネット環境はありますか

町内全域に光回線を導入しておりますので、自由なくインターネットを使用することができます。

暮らし

Q：自治会加入は必要ですか

加入は任意ですが、様々な情報を得たり、つながりがあると便利な事も多いです。規模や内容もそれぞれ異なりますので、まずはお引越しが予定されている地域の自治会の説明を聞いてください。

Q：上下水道はありますか。

水道はほぼ全域をカバーしています。下水道は、公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽のエリアに分かれています。

Q：物価は安いですか

住居費は都会よりも安く、野菜等も新鮮なものが安く手に入るので、生活費は安く済むかもしれません。

移住

Q：田舎暮らしを体験したいのですが……

現在お試し住宅を整備しております。

Q：移住相談窓口はありますか？

ございます。相談窓口は城里町役場まちづくり戦略課です。また、空き家バンクも現在整備中です。

Q：移住者への支援制度

5～6P 参照。特に子育て世代の方へ手厚い支援を行っています。

Q：育児・教育環境はどうなっていますか

幼稚園・保育園の待機児童はゼロで随時受け入れ可能です。小学校はスクールバスにより通学支援をしています。

保護者の負担軽減のため、給食費の軽減施策や放課後児童クラブなどを実施しています。

城里町へのアクセス

□ 路線バス利用の場合

水戸駅北口 7 番のりばから、茨城交通 石塚（野口・長倉）行きバスで約 45 分。「城里町役場入口」停留所下車、徒歩 5 分



お問い合わせ

城里町役場まちづくり戦略課 / 企画政策グループ

〒311-4391

茨城県東茨城郡城里町大字石塚1428-25

TEL 029-288-3111(代)

FAX 029-288-3113



城里町公式ホームページ

<http://www.town.shirosato.lg.jp>



Facebook/城里ふるさと便り

<https://www.facebook.com/town.shirosato>

平成 29 年 3 月 27 日発行 ※ パンフレットに記載の内容は発行日現在の予定になります。